

[公益6] この法人の事業に対する理解の普及

6-1 機関誌の発行、情報公開

<事業計画>

情報通信技術活用による教育改善の促進、情報教育の充実と普及、情報環境の整備促進、大学連携・産学連携による教育支援等の振興・促進、大学教職員の職能開発及び大学教員の表彰について理解と協力を得ることを目的とし、全国の大学・短期大学及び大学・短期大学関係者、文部科学省・関係団体、賛助会員及び社会に対して、機関誌「大学教育と情報」の発行、インターネットによる発信、事業報告交流会を通じて情報提供及び意見交流を行う。

<事業の実施状況>

事業の実施は、「事業普及委員会」及び「事業普及委員会翻訳分科会」を継続設置して、機関誌の発行、海外情報の翻訳、インターネットによる情報公開・配信・意見収集、事業報告交流会を通じて、本協会が実施する公益目的事業の理解の普及を行った。以下に、委員会及び事業報告交流会の活動状況について報告する。

事業普及委員会、翻訳分科会

事業普及委員会は、平成24年4月26日、6月14日、8月20日、10月29日に平均5名または6名が出席し、4回開催した。公益目的事業の理解の普及を推進するため、年間4回の機関誌「大学教育と情報」の発行とホームページへの情報公開を実施した。なお、翻訳分科会は会議を開催せず、事業普及委員会で選定の米国の関係機関の資料について委員が分担して翻訳を行った。以上の他、公益目的事業の理解の普及を図るため事業報告交流会を地域別に実施した。

(1) 機関誌「大学教育と情報」の発行

6月、9月、12月、3月の4回に亘り、80頁の規模で全国の私立の大学・短期大学、本協会賛助会員、関係省庁及び関係団体、非加盟の大学機関を対象に以下の通りの方針に基づき16,300部を発行している。

- ① 公益目的事業に対する理解の促進を図るため、事業活動の内容に加えて私立大学における教育改善、情報教育への取り組み、国や関係機関の審議動向、マスコミ報道などを踏まえ、時宜に適ったインパクトのある情報を提供するようにした。
- ② 上記の方針に沿って、特集では「高等学校での情報科教育の実情と課題」、「座談会：新たな価値創造のための情報リテラシー教育に向けて」、「多機能携帯端末の試行的活用」、「サイバー攻撃の現状と防止策」をとりあげた。
- ③ また、「教育・学修支援への取り組み」では、ICTを活用した教育・学修支援への取り組み状況及び教育事例等を取りあげることにした。
- ④ 「人材育成のための授業紹介」では、分野別の授業でのICT活用事例を紹介することにした。
- ⑤ 海外ニュースは、即時性・話題性のある内容を翻訳あるいは抄訳して紹介することにした。海外情報は、EDUCAUSE（米国の大学・学会を基盤とした情報通信技術の活用などを研究する民間機関で本協会も加盟している）等の雑誌や報告書をもとに、翻訳分科会の委員4名が分担して原文を翻訳した上で1名が監訳している。24

年度はEDUCAUSEの雑誌”EDUCAUSE Review”から「大学教育の崩壊：高等教育におけるラーニングの問題（Disrupting Ourselves：The Problem of Learning in Higher Education）」を翻訳し、25年3月発行のNo.4に掲載した。以下に、24年度に4回発行した目次内容を掲載する。

【大学教育と情報（2012年度No.1:24年6月）】

- ・巻頭言「ICTを活用した双方向教育の展開」 辰巳 浅嗣
- ・特集「高等学校での情報科教育の実情と課題」
 - 「高等学校全体の教科「情報」の状況について」 佐藤 万寿美
 - 「石川県における教科「情報」の現状」 鹿野 利春
 - 「東海大学と東海大学付属高等学校の連携した情報教育 ～情報教育の現状と課題～」 飯塚 浩
- ・人材育成のための授業紹介：情報基礎・情報専門系教育
 - 「ICT活用と対面での徹底指導で人間力を育成する」 玉田 和恵、神部 順子、八木 徹、古里 靖彦
 - 「学生の自発性を引き出す情報システム教育 ～体系的なプロジェクト演習の事例～」 石井 信明、佐久間拓也、宮川 裕之
 - 「産学連携実践教育「プロジェクトベース設計演習」における教育改善」 稲永健太郎
 - 「コンテンツ制作でのICT活用～ゼミナールにおける実践～」 高田 哲雄
- ・教育・学習支援への取り組み
北海道情報大学／武蔵大学
- ・事業活動報告
- ・各種事業への参加募集
- ・私情協ニュース
- ・賛助会員日より

【大学教育と情報（2012年度No.2:24年9月）】

- ・巻頭言「知の情報化と情報教育」 吉岡 知哉
- ・特集「多機能携帯端末の試行的活用」
 - 「明治大学ユビキタス教育における携帯端末への情報発信戦略」
 - 「入試広報におけるスマートフォン活用の可能性～東洋大学～」
 - 「多機能携帯端末を活用した学生生活・学習支援システム～神戸松蔭女子学院大学英語学科の取り組み～」
 - 「文系大学における多機能端末の活用と今後の課題～横浜商科大学～」
- ・人材育成のための授業紹介：看護学
 - 「ICTを活用したブレンディッドラーニングによる看護技術教育」 吉川千鶴子
 - 「看護学生の学習意欲向上を目指したWeb教材導入による看護技術教育の取り組み」 中山 栄純、城戸 滋里
 - 「看護技術における手技内容の比較および学生参加を意識した視覚化教材の作成と評価」 島田多佳子、山根 美保、横山 美樹
 - 「ICTを活用した看護系教養講座 ～「論理学」「コンピュータ概論」および国家試験対策ソフトの開発と公開～」 松村 紀明、小林 郁夫、長尾 邦彦、仲井 克己
- ・教育・学習支援への取り組み
帝京大学／西南学院大学
- ・各種事業への参加募集
- ・事業活動報告
- ・賛助会員日より

【大学教育と情報（2012年度No. 3:24年12月）】

- ・巻頭言「総合的学生支援としてのエンロール・マネジメントとICTの活用」 山本嘉一郎
- ・特集「座談会：新たな価値創造のための情報リテラシー教育に向けて」
村井 純、玉田 和恵、家本 修、佐藤万寿美、
天良 和男、今泉 忠
- ・人材育成のための授業紹介：保育学
「保育・教育実習における遠隔学習支援システムを用いた指導・援助の実践」
新谷 公朗、平野 真紀
「ICT活用と直接的交流をインタラクティブに体系化した保育者育成プログラムの構
築と展開」
坂本 健
「異学生共同コミュニティによる課題解決学習と保育士資格取得科目における取り組
み」
大野 地平
- ・教育・学修支援への取り組み
皇學館大学／神奈川大学
- ・各種事業への参加募集
- ・私情協ニュース
- ・事業活動報告

【大学教育と情報（2012年度No. 4:25年3月）】

- ・巻頭言「教育・研究の改革とICTの活用」 岡 隆光
- ・特集「サイバー攻撃の現状と防止策」
「巧妙化する標的型攻撃とその対策」 高倉 弘喜
「標的型攻撃の脅威と新たな発想によるセキュリティ対策」
独立行政法人情報処理推進機構（IPA）
株式会社日立ソリューションズ
「“今”こそ見直すサイバー攻撃対策」
- ・人材育成のための授業紹介：英語教育
「授業時間外の学習時間の増大による英語力の向上」 Thomas N. Robb、加野まきみ
「英語コミュニケーション能力を養成するための統合型Online CALLシステム」
高橋 秀夫、土肥 充
「ICT活用とチャンク理解で英文速読力と聴解スキルを習得」湯舟 英一、峯 慎一
- ・教育・学修支援への取り組み
福岡女学院大学
- ・事業活動報告
- ・各種事業への参加募集
- ・賛助会員日より
- ・海外ニュース「大学教育の崩壊：高等教育におけるラーニングの問題」

（2）インターネットによる情報公開・配信・意見収集

本協会の公益目的事業の活動を社会に紹介し、理解の普及を図るため、ホームページの枠組みを事業活動に連動できるよう、「望ましい教育改善モデルの探究」、「情報教育のガイドライン」、「高度な情報環境づくり」、「大学連携・産学連携の推進」、「教職員の教育力向上」、「高度情報化の支援」を設定し、事業の活動報告としての成果物及び各種委員会の議事概要を公開している。また、事業ごとにインターネットを通じて意見・要望を収集するための入力サイトを設け、事業の点検・評価・改善を行っている。平成24年度はとりわけ、24年11月に刊行した『『大学教育への提言』—未知の時代を切り拓く教育とICT活用』を25年1月にPDF形式で掲載し、普及に努めた。